

かんまき 社協だより 第37号 (H24.1)



発行者：

上牧町社会福祉協議会

〒639-0214

上牧町上牧3245-1

TEL (76) 6098

FAX (79) 0895

ふれあい社協まつりが 開催されました！



11月27日、住民の皆さんにボランティア活動や福祉に興味をもっていただくイベント“ふれあい社協まつり2011”が開催されました。

今年は奈良県も含め全国で大きな災害が発生した年でもあり「絆」をキーワードにそれに関連する様々な催しが行われました。

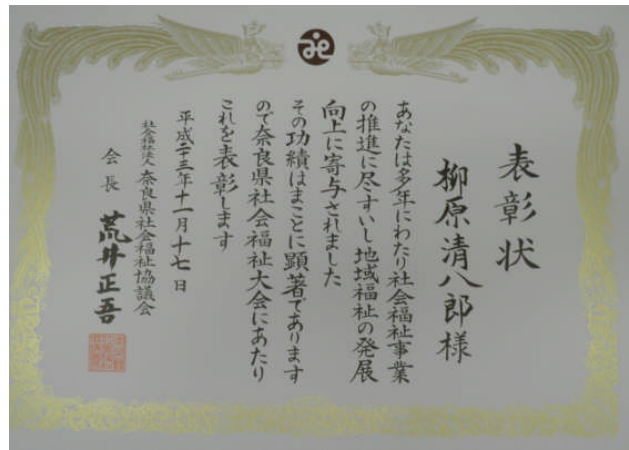
**第61回
県社会福祉大会開催**

11月17日、奈良県文化会館を会場に第61回奈良県社会福祉大会が開催されました。平成23年は社会福祉協議会が創設された1951年から数えて60年目、共同募金運動の開始から65年と節目の年の開催となりました。

今年には奈良県内の社会福祉協議会が展開した東日本大震災の被災地支援活動や、奈良県災害ボランティアセンターの活動などがパネルで紹介されたり、東北地方の授産施設の制作した製品などが販売されるなど、災害復興支援が大きなテーマとされました。

また、社会福祉活動への功勞者に対して行われる顕彰では、本会理事の柳原清八郎氏が上牧町社会福祉協議会発足当初から現在まで理事として経営に携わっていることが評価され、奈良

県社会福祉協議会会長表彰を受けられました。



**社協のホームページ
が出来ました**

社会福祉協議会のホームページが完成しました。社協の活動についてより詳細な情報を掲載していきたいと思っておりますので、ぜひ一度ご確認ください。

URL: <http://kamishakyo.com>

web.fc2.com

義援金の受付状況報告

台風12号災害で被災された方への義援金は12月15日現在で11,090円です。

みなさまよりお預かりした義援金は中央共同募金会等を経て被災者の方々へ配分されます。9月から12月の預託者は左表のとおりです。

月	預託者名
9月	プチライフ様 菅生千代光様
10月	片岡台3丁目自治会様 緑ヶ丘自治会様
12月	滝川台自治会様

なお、台風12号災害の義援金受付は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

社協へのご寄附

ありがとうございます

平成23年9月～12月分

上牧町社会福祉協議会では、地域福祉推進のためのご寄附をお願いしています。皆様からいただきました金品は地域福祉事業に活用させていただきます。なお、いただきましたご寄附は、所得税法上の控除の対象になります。

氏名	種別	内訳
明朗会様	一元募金	1,069円
友愛会様	一元募金	3,401円
社協まつり出店団体(7団体、個人)	寄付金	20,200円

ふれあい社協まつりコーナー
テーマは「絆」

去る11月27日(日)2000年會館にて「ふれあい社協まつり2011」が行われました。

オープニングでは本會の今中會長より台風12号で被災した十津川での活動の話しを交えながらボランティア活動の大切さについて一緒に理解を深めていきましようとの挨拶があり、その後婦人會による華やかな「錢太鼓」が披露されました。

報告会&講演会

オープニングの後に行われた一緒に考えようのコーナーでは、上牧町ボランティア連絡協會議會の被災地支援活動「笑顔の明日へ」について、同會會長の室谷さんと副會長の初瀬さんから、今夏に住民の皆さんからお預かりしたメッセージカードを

宮城県気仙沼市の仮設住宅へ持参した際の報告が行われました。気仙沼市訪問の際には、入居から2週間しか経過していない仮設住宅でサロン活動に従事し、まだ隣に誰が住んでいるのかも分からない状態の入居者同士をつなげる架け橋となることが出来たとの報告がありました。

続いて行われた講演会では、「被災地での写真洗浄活動から見えた人のつながり地域のつながり」というテーマで日本社会情報学会 溝口佑爾氏から宮城県山元町での写真洗浄活動についてお話しいただきました。

溝口さんは山元町に長く滞在する中で「町の思い出」「人の思い出」がここに住む人々を支えることに繋がると確信したそうです。海水や汚水に浸かったドロドロの写真を洗浄、修復していく過程で、その写真の中の人物に懐かしさを感じ、本人に

手渡すときは思い出を共有できていると感じたそうです。そしてもう一つ、この活動を通して様々なボランティアや住民とのつながりが出来たことも大きな収穫であったと話されています。



学びのコーナー

学びのコーナーでは「手話体験」、ケン玉や紙鉄砲などの「昔遊び」、ピーターパンの「読み聞かせ」、日赤奉仕団による「非常食実演」などが行われました。この中でも特に盛況だったのが「昔遊び」のコーナーで、笹

舟づくりや紙鉄砲などに挑戦する子どもたちの真剣な表情が印象的でした。



今回の社協まつりは11月末とは思えないような小春日和の中、たくさんの方の参加をいただきました。

この度は「笑顔の明日へ」にたくさんの方々のご参加をいただきありがとうございます。また、メッセージカードの配布、回収にご協力いただいた店舗の皆様にもこの場をお借りしてお礼申し上げます。

上牧町ボランティア連絡協議会

ボランティアの振興に向けて
西和地区8社協共同事業

社会福祉協議会では奈良県社会福祉協議会のモデル指定を受け、「広域連携による社協とボランティアの協働のあり方検討」という事業を実施しています。この事業は北葛城郡4町、生駒郡4町の西和地区8社協が参加し、共同で域内のボランティア活動の振興と社協とボランティアのより良い関係づくりを目指しています。

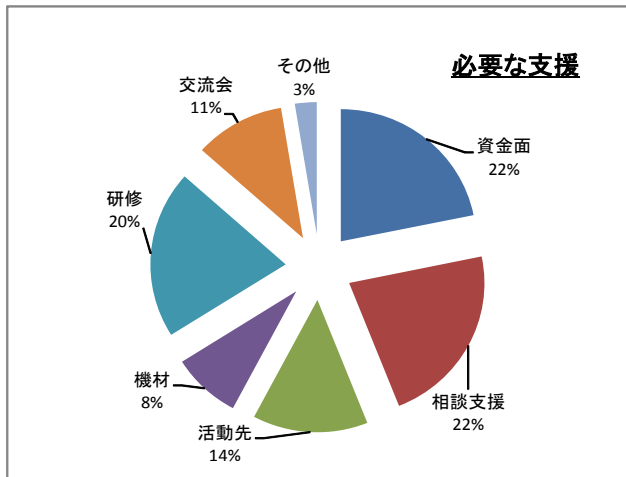
初年度となる今年度はまず各社協の持つボランティアセンター機能を強化していくことで、社協がボランティアやNPOなどの市民活動との連携を強化し、協働のための基盤整備を目指しています。

議論の過程で「西和地域におけるボランティア活動調査」と題したアンケート調査を実施し、いまだのような支援が求め

られているのかを明らかにしました。

アンケート調査は西和地区8社協で実施され、計801名から回答をいただきました。この調査結果は西和地区8社協の会議で報告し、本事業の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以下に集計結果の一部を簡単に報告します。



現在、域内で活動中のボランティアグループ、NPOで一番の課題と回答されているのが「活動者の確保」(34%)であり、このことはアンケート回答者の6割超が60代以上であることから、後継者や新規の活動者の加入が大きな課題となっていると考えられます。これに続いて「活動資金」(16%)、「活動のマンネリ化」(12%)等があげられています。

このような状況の中でボランティア活動を継続していくために社協からの支援として期待されていることは、専属の担当者を設置して活動の方向性や後継者育成などについて一緒に考えていくことであることと、この他にも広報活動を充実し、ボランティアについてより多くの方に理解してもらえらるような取り組み等も求められています。

この他には、「資金面での支援」(22%)や同じ活動者同士の「テーマ別交流会」(11%)やボランティア講座などの「研修の機会」(20%)を確保し、新規加入者から現在活動中の人に至るまでそれぞれの段階に応じた学習の機会が求められています。

